

眼科学（－Ophthalmology－）

I 教育の基本方針

眼科学教室では、眼科的疾患の臨床に役立つ基礎研究を目指している。また実験方法や研究内容によっては、各基礎医学教室や他科臨床医学教室にも協力を依頼して、効率的な進展を図るようにしている。

研究成果を臨床に応用することを念頭において、良き臨床医の養成を目指す。

II 年次毎の到達目標

1年次	各疾患について幅広い知識を習得し、診断・検査・手術手技を身につける。
2年次	各疾患の病因と病態に関する研究手法を修得し、研究計画を立案する。関連病院において診断と治療を修得する。
3年次	計画に則って研究を実施し一定の成果を目指す。
4年次	研究成果を原著論文にする。学位取得。

III 担当教員・研究テーマ

教授	平形 明人	網膜硝子体疾患、眼科手術、眼病理
教授	岡田 アナベル あやめ	眼炎症・黄斑疾患における薬物療法の研究、ぶどう膜炎分類基準や専門用語の国際的標準化
教授	山田 昌和	ドライアイなどの角結膜疾患、角結膜疾患のバイオマーカーの探索、臨床疫学研究・多施設共同研究、医療経済の分析
教授	井上 真	網膜硝子体疾患の外科的治療、デジタル支援手術、画像診断
教授	慶野 博	ぶどう膜炎の病因解明、新規治療法の開発
准教授	厚東隆志	網膜硝子体疾患の外科的治療、heads-up手術における画像解析
准教授	北 善幸	緑内障の画像診断、手術治療

IV 研究指導補助教員

講師 廣田和成 鈴木由美 松木奈央子 片岡恵子 石田友香
 講師 安藤良将
 助教 中山真紀子
 助教 久須見有美 齋藤恒浩 林 勇海 富田 茜 水野雅春 高橋 綾
 津田麻祐子

V 授業科目一覧

種別	科目名	単位	開講時期	標準履修年次
講義・演習	講義・演習	4	半期	1年次
実験・実習	実験・実習	8	通年	2年次又は、 1－2年次
専門分野 共通科目	課題研究	8	通年	3年次又は、 2－3年次
	研究論文演習	4	通年	3年次又は、 4年次

開 講 年 度	2021	開 講 時 期	半 期	標 準 履 修 年 次	1 年 次	単 位	4
科 目 名	講義・演習						
担 当 教 員	履修者の研究内容によって、個別指導を行う。						
曜 日 ・ 時 限 等	春学期： 月曜日 3・4時限 (13:15-14:45・15:00-16:30) 秋学期： 月曜日 3・4時限 (13:15-14:45・15:00-16:30)						
教 室 等	講義日時・講義内容・場所等は、初回時に提示する。						
教 育 の 基 本 方 針	広い見地に立った研究を遂行できるよう、眼科学において必要とされる専門知識と技能を培う。						
到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 眼科学において比較的頻度が高く、失明につながりやすい重要な4疾患、糖尿病網膜症、加齢性黄斑変性、網膜色素変性症、網膜剥離の病態とそれらに関する研究の概要を理解する。 2. 眼科学研究の基礎となる視覚器の発生、構造、生理、組織標本作成について理解することを目標とする。 3. 眼内免疫を理解する。 4. 酸化障害機構を理解し、白内障発生過程の一つ、ひいては生体の老化現象の一端を理解する。 5. 外科侵襲時の代謝の変動を理解させる。 						
学 習 内 容	眼科学に関する最新の英語原著論文を抄読し、研究目的、方法、結果について理解し、当該研究の意義、問題点、残された課題について討論する。						
授 業 計 画	履修者の研究内容によって、個別指導を行う。 講義日時・講義内容・場所等は、初回時に提示する。 研究課題に対する進行状況を定期的に報告させ、個別指導を行う。定期的に医局内の勉強会で研究内容を発表させ、担当教員の指導を受ける。						
準 備 学 習 と 授 業 外 の 学 習 方 法	授業計画のテーマについて事前に文献などを調べてくること。 学習指導書等に挙げた文献・参考書等を学期中に読むこと。 専門領域における他科のカンファレンスに参加し知識を深める。 CITI Japan(e-learning)の医学研究者標準コース(15単元)を受講すること。						
学 習 指 導 書 (テ ー ス ト ・ 参 考 文 献 等)	丸尾敏夫、本田孔士、臼井正彦、田野保雄編集：眼科学. 文光堂 増田寛次郎、猪俣孟、玉井信、本田孔士編集：眼科学大系. 第5巻. 中山書店 Pathobiology of Ocular Disease. Part I, II Garner A, Klintworth GK Ed. Marcel Dekker, Inc 岩田修造編著：水晶体 その生化学的機構. メディカル葵出版						
成 績 評 価 方 法	筆記試験 (50%) 面接試験 (50%)						
成 績 評 価 基 準	25ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/						
備 考	上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。 質問等の受付は随時。						

開講年度	2021	開講時期	通年	標準履修年次	2年次又は、1-2年次	単位	8
科目名	実験・実習						
担当教員	研究テーマにより決定する。						
曜日・時限等	原則として、毎週火曜日、木曜日の終日 ※参加が難しい場合には各ケースで協議のうえ具体的な時間割を決定する。						
教室等	1-5病棟、中央手術室、外来手術室、臨床医学研究棟6階608号						
教育の基本方針	広い見地に立った研究を遂行できるよう、眼科学において必要とされる専門知識と技能を培い、適切な情報の収集と分析ができるようになる。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 眼科領域の病理学的研究を通して、眼科疾患の理解を深め、眼科難治性疾患あるいは血管新生を生じる病態解明に従事する。そして、眼病理学の研究を通じて、幅の広い知識や難病に遭遇した際の適切な判断能力を有する眼科臨床医となる。 2. 眼科領域の発生、再生研究を通じて、眼科疾患の病態解明および難治性疾患の治療法を開発する。 						
学習内容	研究テーマにより決定する。						
授業計画	第 1- 60回 到達目標1の達成 第61-120回 到達目標2の達成 研究課題に対する進行状況を定期的に報告させ、個別指導を行う。定期的に医局内の勉強会で研究内容を発表させ、担当教員の指導を受ける。						
準備学習と授業外の学習方法	学習した実験手技を繰り返し行い、安定で信頼性の高い技術を修得する。 研究テーマに沿った原著論文を読み疑問点を抽出すること。 学習指導書等に挙げた文献・参考書等を学期中に読むこと。 専門領域における他科のカンファレンスに参加し知識を深める。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	丸尾敏夫、本田孔士、臼井正彦、田野保雄編集：眼科学. 文光堂 増田寛次郎、猪俣孟、玉井信、本田孔士編集：眼科学大系. 第5巻. 中山書店 Pathobiology of Ocular Disease. PartI, II Garner A, Klintworth GK Ed. Marcel Dekker, Inc 岩田修造編著：水晶体 その生化学的機構. メディカル葵出版						
成績評価方法	臨床能力（50％）、研究報告（50％）						
成績評価基準	25ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/						
備考	上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。質問等の受付は随時。						

開講年度	2021	開講時期	通年	標準履修年次	3年次又は、2-3年次	単位	8
科目名	課題研究						
担当教員	研究テーマにより決定する。						
曜日・時限等	履修者の研究内容によって個別に指導を行う。 ※参加が難しい場合には各ケースで協議のうえ具体的な時間割を決定する。						
教室等	1-5病棟、中央手術室、外来手術室、臨床医学研究棟6階608号						
教育の基本方針	研究テーマに関する実験・調査を反映させた研究計画を立てて、実際に研究を行い、その結果をまとめ、論旨をもって発表することを学ぶ。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自らが立案した研究計画にそって研究を実行できる。 2. 正しく統計処理ができる。 3. 結果を科学的に図表にまとめられる。 4. 実験内容を正しく記載し記録できる。 5. 追加実験を自分で立案できる。 6. 学会や医学研究科の研究報告会で発表できる。 						
学習内容	研究テーマにより決定する。						
授業計画	第 1- 10回 先行研究について 第 11- 15回 研究方法の検討 第 16- 99回 実験実施と検討 第100-120回 追加実験の検討 研究課題に対する進行状況を定期的に報告させ、個別指導を行う。定期的に医局内の勉強会で研究内容を発表させ、担当教員の指導を受ける。						
準備学習と授業外の学習方法	学習した実験手技を繰り返し行い、安定で信頼性の高い技術を修得する。 研究テーマに沿った原著論文を読み疑問点を抽出すること。 学習指導書等に挙げた文献・参考書等を学期中に読むこと。 専門領域における他科のカンファレンスに参加し知識を深める。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	丸尾敏夫、本田孔士、臼井正彦、田野保雄編集：眼科学. 文光堂 増田寛次郎、猪俣孟、玉井信、本田孔士編集：眼科学大系. 第5巻. 中山書店 Pathobiology of Ocular Disease. PartI, II Garner A, Klintworth GK Ed. Marcel Dekker, Inc 岩田修造編著：水晶体 その生化学的機構. メディカル葵出版						
成績評価方法	研究報告（50％）、研究成果の発表（50％）						
成績評価基準	25ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/						
備考	上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。質問等の受付は随時。						

開講年度	2021	開講時期	通年	標準履修年次	3年次又は、4年次	単位	4
科目名	研究論文演習						
担当教員	研究テーマにより決定する。						
曜日・時限等	履修者の研究内容によって個別に指導を行う。 ※各ケースで協議のうえ具体的な時間割を決定する。						
教室等	1-5病棟、中央手術室、外来手術室、臨床医学研究棟6階608号						
教育の基本方針	研究テーマに関する実験・調査を反映させた研究計画を立てて、実際に研究を行い、その結果をまとめ、論旨をもって発表することを学ぶ。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究の成果を原著論文とする。 2. 国内外の学会、ポスターセッション、症例報告会等で発表を行い、質問者からの問いに適切に答えられるようにする。 3. 博士論文の完成 						
学習内容	研究テーマにより決定する。						
授業計画	第 1- 5回 論文データ収集 第 6-10回 引用可能な文献の選抜 第11-15回 論文の全体の流れの確認。 第16-30回 学位論文作成 研究課題に対する進行状況を定期的に報告させ、個別指導を行う。定期的に医局内の勉強会で研究内容を発表させ、担当教員の指導を受ける。						
準備学習と授業外の学習方法	今回指導した内容に基づき次回までに論文原稿の当該箇所を修正しておくこと。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	丸尾敏夫、本田孔士、臼井正彦、田野保雄編集：眼科学. 文光堂 増田寛次郎、猪俣孟、玉井信、本田孔士編集：眼科学大系. 第5巻. 中山書店 Pathobiology of Ocular Disease. PartI, II Garner A, Klintworth GK Ed. Marcel Dekker, Inc 岩田修造編著：水晶体 その生化学的機構. メディカル葵出版						
成績評価方法	論文の作成 (100%)						
成績評価基準	25ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/						
備考	上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。質問等の受付は随時。						